



KAWAI 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社河合楽器製作所

上場取引所 東

コード番号 7952 U R L <https://www.kawai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 河合 健太郎

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート戦略本部 経営戦略部長 (氏名) 飯塚 章浩 T E L 053-457-1227

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	53,310	△2.1	2	—	802	656.1	457	—
	54,455	△9.1	△159	—	106	△96.8	△169	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,023百万円 (−%) 2025年3月期第3四半期 39百万円 (△99.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	53.16	—
	△19.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	76,383	44,752	58.6
	73,991	44,541	60.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 44,752百万円 2025年3月期 44,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	95.00	95.00
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	95.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想の修正については、本日(2026年2月12日)公表いたしました「2026年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） |

2026年3月期 3Q	9,011,560株	2025年3月期	9,011,560株
2026年3月期 3Q	409,141株	2025年3月期	412,141株
2026年3月期 3Q	8,601,086株	2025年3月期 3Q	8,599,512株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の関税政策や地政学的リスクを背景とする不確実性が長期化するなど、先行き不透明な状況が続きました。米国では個人消費を中心に底堅さを維持した一方、欧州では景気回復の力強さを欠き、中国では内需の弱さがみられました。日本では、物価高の影響が一部にあるものの、個人消費や設備投資に支えられ、緩やかな回復基調を維持しました。

当社グループを取り巻く経営環境としては、北米ではブランド認知度向上施策等により鍵盤楽器販売が堅調に推移し、日本においても、リブランディングを実施したグランドピアノ「GXシリーズ」を中心に販売が堅調に推移しました。一方で、中国では双減政策や経済状況の低迷に伴う鍵盤楽器需要が引き続き低下傾向にあり、欧州においても市中庫の増加により価格競争が激化するなど、主に普及価格帯のアップライトピアノおよび電子ピアノの販売が低調に推移しました。その結果、総じて鍵盤楽器販売全体の回復ペースは想定を下回る状況となりました。

このような環境のもと、当社グループは、第8次中期経営計画「KAWAI 十年の計」（2026年3月期から2035年3月期）で掲げる「鍵盤楽器成長戦略」のもと、高付加価値化とシェア拡大を目的とした取り組みを進めております。その一環として、デジタルマーケティングの強化、EC市場を含めたディーラー開拓や新規直営店の展開による販売チャネルの拡充、および製品戦略を推進しております。

特に、販売チャネルの拡充としては、オーストラリアでは初となる直営店「KAWAI Brisbane（カワイ ブリスベン）」を昨年7月にグランドオープンしました。同店では、リサイタルスペースや練習室を備えるとともに、教育施設や音楽団体との連携、著名アーティストへの支援などを通じて、製品体験の機会を創出しております。今後もこうした取り組みにより、地域の音楽振興とカワイブランドのさらなる浸透を図ってまいります。

また、製品戦略としては、昨年11月に開催された「第19回ショパン国際ピアノコンクール」において、1次予選参加者84名中21名に当社フルコンサートピアノ『SK-EX』が選択されるなど、世界的なコンクールにおけるプレゼンスが向上し、顧客評価の向上にもつながりました。昨年10月に開催された一般社団法人全国楽器協会主催の「楽器店大賞2025」においては、電子ピアノ『CX302』が「鍵盤楽器部門」大賞を受賞しました。前回の同表彰においても当社電子ピアノが大賞を受賞しており、2年連続での評価獲得となりました。今後も当社製品が持つ魅力を最大限に発揮させるとともに、競争力のある新製品を市場へ投入してまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 53,310百万円（前年同期比 1,145百万円減）、営業利益は 2百万円（前年同期比 161百万円増益）となり、経常利益は 802百万円（前年同期比 696百万円増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 457百万円（前年同期比 626百万円増益）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(楽器教育事業)

楽器教育事業は、認知度向上をはじめとした各施策の効果が見られるものの、双減政策の影響が続く中国や、価格競争が激化する欧州で販売量が減少した影響などにより、売上高は 41,766百万円（前年同期比 1,887百万円減）となり、営業損失は 662百万円（前年同期比 198百万円改善）となりました。

(素材加工事業)

素材加工事業は、半導体需要が増えた金属事業や、防音室の販売が好調な音響事業などの影響により、売上高は 8,100百万円（前年同期比 596百万円増）となった一方、材料価格の高騰及び商品構成の変動により、営業利益は 609百万円（前年同期比 68百万円減益）となりました。

(その他事業)

その他事業は、医療機関向けIT機器販売の受注増加などにより、売上高は 3,443百万円（前年同期比 145百万円増）となり、営業利益は 102百万円（前年同期比 24百万円増益）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、棚卸資産の増加などにより 76,383百万円（前期末比 2,392百万円増）となりました。

負債合計は、短期借入金及び長期借入金の増加などにより 31,630百万円（前期末比 2,181百万円増）となりました。

純資産合計は、その他有価証券評価差額金などの増加などにより 44,752百万円（前期末比 211百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきまして、楽器教育事業における楽器の販売が特に欧州において計画を下回る見込みとなったことや、素材加工事業における自動車関連部品の受注が減少したことなどにより、通期連結業績予想を下方修正いたします。

詳細につきましては、本日（2026年2月12日）公表いたしました「2026年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,300	12,129
受取手形及び売掛金	10,606	10,725
商品及び製品	11,324	13,169
仕掛品	2,318	2,239
原材料及び貯蔵品	5,609	5,471
その他	5,550	5,263
貸倒引当金	△191	△129
流動資産合計	48,518	48,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,079	4,044
機械装置及び運搬具（純額）	1,810	1,679
土地	6,426	6,421
その他（純額）	2,692	3,279
有形固定資産合計	15,008	15,423
無形固定資産	492	610
投資その他の資産		
投資有価証券	7,232	8,935
繰延税金資産	1,180	906
その他	1,748	1,830
貸倒引当金	△189	△193
投資その他の資産合計	9,972	11,479
固定資産合計	25,472	27,513
資産合計	73,991	76,383
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,876	5,394
短期借入金	5,562	6,305
未払法人税等	135	580
賞与引当金	858	454
製品保証引当金	175	158
その他	5,866	5,757
流動負債合計	17,475	18,650
固定負債		
長期借入金	2,884	3,981
環境対策引当金	5	4
株式報酬引当金	34	36
退職給付に係る負債	7,457	7,327
資産除去債務	580	584
その他	1,011	1,046
固定負債合計	11,973	12,980
負債合計	29,449	31,630

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,294	1,294
利益剰余金	29,556	29,193
自己株式	△976	△967
株主資本合計	36,997	36,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,733	2,933
為替換算調整勘定	5,759	5,133
退職給付に係る調整累計額	51	43
その他の包括利益累計額合計	7,544	8,110
純資産合計	44,541	44,752
負債純資産合計	73,991	76,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	54,455	53,310
売上原価	40,888	39,521
売上総利益	13,567	13,789
販売費及び一般管理費	13,726	13,786
営業利益又は営業損失(△)	△159	2
営業外収益		
受取利息	89	114
受取配当金	97	121
固定資産賃貸料	62	49
為替差益	235	738
その他	57	46
営業外収益合計	541	1,071
営業外費用		
支払利息	57	107
支払補償費	59	—
寄付金	43	42
訴訟関連費用	—	21
その他	115	100
営業外費用合計	276	271
経常利益	106	802
特別利益		
固定資産売却益	6	1
受取補償金	2	25
特別利益合計	8	26
特別損失		
固定資産除却損	26	18
固定資産売却損	1	5
特別損失合計	27	24
税金等調整前四半期純利益	87	804
法人税等	253	347
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△166	457
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	△169	457
又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)		

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△166	457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	1,200
為替換算調整勘定	297	△626
退職給付に係る調整額	14	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	3	—
その他の包括利益合計	205	565
四半期包括利益	39	1,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13	1,023
非支配株主に係る四半期包括利益	26	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	楽器教育	素材加工	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	43,653	7,504	3,298	54,455	—	54,455
セグメント間の 内部売上高又は振替高	16	85	114	216	△216	—
計	43,670	7,589	3,412	54,672	△216	54,455
セグメント利益 又は損失 (△)	△861	677	78	△105	△53	△159

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△53百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△49百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	楽器教育	素材加工	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	41,766	8,100	3,443	53,310	—	53,310
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8	80	132	222	△222	—
計	41,775	8,181	3,576	53,533	△222	53,310
セグメント利益 又は損失 (△)	△662	609	102	49	△46	2

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△46百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△42百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末より、従来「その他」に含まれていた「その他事業」の量的重要性が増したため、報告セグメントを従来の「楽器教育事業」及び「素材加工事業」の2区分から、「楽器教育事業」、「素材加工事業」及び「その他事業」の3区分に変更しております。これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,322百万円	1,438百万円